

オプトアウト

「当院におけるセマグルチド週1回注射製剤の有効性の検討」について

当センターでは下記の通り臨床研究(学術研究)を実施しています。この研究は診療記録と検査結果に基づいて行われます。厚生労働省・文部科学省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認のもとで実施されます。

研究背景

セマグルチド週1回注射製剤(オゼンピック皮下注[®])は週1回の自己注射による糖尿病治療薬です。膵臓からのインスリン分泌を増やすとともに消化管の運動を低下させることで食後の血糖値上昇を抑えHbA1cを低下させる効果があり、また食欲を低下させることにより肥満を改善させる可能性が有ります。この薬の副作用には吐き気や腹痛、注射部位の痛みなどがあり、治療に伴い患者さんの生活の質(QOL)を低下させる可能性があることがわかっています。

研究目的

オゼンピック皮下注[®]の治療効果、副作用の発現状況を調査し、臨床データ(年齢、性別、身長、体重、糖尿病の重症度、併存疾患、併用薬剤、血液検査・尿検査の結果など)と比較して分析することで治療効果や副作用を明らかにして、よりよい治療を可能にするのが目的です。

研究対象

2021 年末までに当センターでオゼンピック皮下注[®]を処方されたことのある全ての患者さんを対象としています。

研究方法

上記の患者さんの臨床データをカルテ情報も元に収集して分析します。治療内容の決定、変更は通常の診療の一環として行われ、本研究のために特別な検査・投薬を追加することはなく、患者さんに負担を求めことはありません。

個人情報保護に関する配慮

診療内容には個人情報が含まれるため、個人が特定されない方法で解析を行います。対象となる患者さんの情報を識別する目的で本研究専用番号を振り分けるため、個人情報は固く守られます。研究成果を学会発表や論文投稿の形で開示することがありますが、その際は統計的に処理されたデータのみを公表いたしますので、患者さんの個人情報が流出することはありません。

研究に関するお問い合わせ

患者さんからのご希望があれば、診療情報を研究に使用しないことが可能ですので、下記連絡先まで申し出てください。診療情報の使用に同意いただけても患者さんに不利益を生じることはありません。

研究担当

日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科

研究代表者 廣島知直

共同研究者 海道陽介、伊藤沙耶、稲葉秀文、井上元

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20 TEL 073-422-4171(代表)